

こらぼ大森・地域イベント掲示板

2017年5月1日 発行

みどりのカーテン講習会 2017

クーラー節約&もぎたてのゴーヤで夏バテ予防!

日時: 5/21(日) 午前10時30分~11時30分
 場所: こらぼ大森 多目的室 参加費: 無料
 対象: どなたでも・親子歓迎 (小学生は保護者同伴)
 持ち物: 筆記用具、手提げ袋
 参加特典: ゴーヤの苗を差し上げます
 内容: 植え方の実演・専門家からアドバイス。
 ★大きなゴーヤの実がたくさんとれる方法
 ★葉がたくさん出る工夫など
 定員: 30組 (申込み・先着順・残席あれば当日可)
 申し込み:
 氏名・連絡先 (電話・メールアドレスなど) を明記のうえ下記まで、ご連絡ください。
 TEL/FAX: 03-5753-6560
 E-mail: cbc10286@nifty.com
 主催・申込み先: こらぼ大森情報交流室
 共催: NPO 法人東京城南環境カウンセラー協議会



みんなの囲碁・将棋教室

世代を超えて楽しもう! 毎月第2水曜開催予定

日時: 5/10・6/14・7/12 午後2時~4時
 場所: こらぼ大森 2F会議室 参加費: 無料
 出入り自由。初心者も歓迎。講師のアドバイスあり。
 主催: NPO 法人大田教育支援の会
 共催・連絡先: NPO 法人大森コラボレーション
 ☎: 03-5753-7884 (担当・森)



こらぼ大森ボランティア募集!

ボランティアの「はじめの一歩」-出来ることから-
 内容: お花の水やり園芸 (菊作り5月よりスタート!)
 イベント準備/ニュースや冊子の袋詰め/など
 活動日: 毎週木曜日 午後1時スタート
 ご都合に合わせての調整も可能です。
 問い合わせ・申込み先: 右記連絡先まで。

フリフリマーケット

「もったいない!」という気持ちを大切に、
 モノとモノのやり取りを通じた交流を楽しもう!

出展者募集!! (1ブース500円)

日時: 5/20(土) 午前11時~午後3時
 会場: こらぼ大森 グラウンド ※雨天中止
 子ども交流センター版のフリーマーケットです。
 主催: 子ども交流センター (☎03-5753-6801)

5月新規開講! ママのためのコーチングサロン

ママも子どもも笑顔になれるコーチング講座

日時: 5/12・26 6/9・23 7/7 (全日・金曜日開催)
 午前10時~11時30分
 会場: こらぼ大森 2F会議室
 対象: 主に未就学児及び小学校低学年の子どもの保護者対象 (同伴は不可)
 持ち物: 筆記用具 定員: 15名先着順
 受講料: 1回1,600円 (全5回8,000円)
 主催: CSRコーチング (☎: 080-6785-5677)



大森西地域のおまつり情報

地域のおまつりに参加しませんか?

- 大森諏訪神社例大祭
 日付: 5/27(土)・28(日)
 所在地: 大田区大森西 2-23-6
- 浅間神社例大祭
 日付: 6/2(金)・3(土)・4(日)
 所在地: 東京都大田区大森西 2-2-7



発行: こらぼ大森ニュース編集委員会

TEL/FAX: 03-5753-6560

E-mail: cbc10286@nifty.com

URL: http://collabo-ohmori.com/

住所: 大田区大森西 2-16-2

大田区民活動支援施設大森【こらぼ大森】

こらぼ大森 第22号 ニュース

- 風薫る 緑の中で 元気に育て子どもたち
- LET'Sこらぼ リサイクル事業を通じた地域のつながり
- 防災イベント実施の報告
- こらぼdeアート実施の報告
- 掲示板「みどりのカーテン」「フリフリマーケット」など



風薫る 緑の中で 元気に育て子どもたち

さつき
 早月の青空のもと、柔らかな日差しをあびて遊ぶ子ども達の元気な声が聞こえてきます。

こらぼ大森の中にある子ども交流センターには、年間36,000人もの中中高学生が来ます。
 遊びや多彩な活動を通じてどの子もすくすくと育ててほしいですね。

子ども達も手伝ってくれて育てた芝生もグングン伸びてきて、もうすぐこらぼのグラウンドは
 緑でいっぱいになりそうです。

Let's こらほ



こらほ大森も大田区内の回収拠点のひとつであるペットボトルキャップのリサイクル事業。連携の担い手として、仕分け作業を行う障害当事者も参画しています。障害当事者や福祉事業者が、この取り組みに参画することの意義について、ご寄稿をいただきました。

リサイクルシステムを通じた地域のつながり 大田生活実習所 末永 正和 さん

大田生活実習所では、利用者の方々が「より楽しく」「より充実した」地域生活を当たり前に送れるよう長期的な展望を持った支援の提供を目指しています。作業や活動の中で様々な形で地域に関わることが、地域との結びつきを深め当たり前の生活の実現に繋がると考えています。社会で「働く」という当たり前の活動の中でペットボトルリサイクルも地域との関係が深い作業活動です。地域で回収され本来ゴミとして捨てられていたキャップが、資源となり製品として生まれ変わる。そのリサイクルシステムの一端を担う事で社会の一員として働くことを実感しています。

ペットボトルのキャップは、こらほ大森の他に区役所や小学校、池上地区まちおこしの会等で一旦集められ実習所にやってきます。実習所ではそのキャップを白、カラー、ポリと原料ごとに選別する作業を行っています。小さなペットボトルキャップを原料ごとにそれぞれ選別する作業は根気が必要です。特性の合っている利用者が長年選別作業に取り組むことで、今ではその選別の精度が職員以上の方もいらっしゃいます。

作業能力の維持向上だけでなく、その利用者にとっての自信にもなり、日々とても意欲的に取り組まれています。

選別されたキャップは再生工場でプラスチックのチップに処理され、さらにプラスチックを加工する工場でプランター等の製品となります。製品となったプランターを利用者のもとに届けると嬉しそうな表情をされる方もおり、リサイクルできたという事を実感できる機会となっています。

現在、そのプランターを使い野菜を栽培しています。今後はそのプランターを販売したり、地域の活動で使用したりと、さらにリサイクルの輪を拡げていきたいと思えます。



▲施設内での取り組み
ペットボトルキャップの選別



▲地域で集められた
ペットボトルキャップ

未来の「いざ！」のために役立つ楽しい防災イベント ご来場ありがとうございました！

東 日本大震災の発災から6年経過を前にして、個人個人が自宅でする防災や備えについて学ぶ機会を作ろうとイベントを行いました。〈在宅避難〉をテーマにして、【生き残る知恵】と【生き延びる知恵】をキーワードに4つのブースと2つの講座、そして缶詰やアルファ化米を自分たちでおいしく工夫して作って食べるランチ会を実施しました。

どのブース・講座も熱心に耳を傾けたり、体験する方々がたくさんおられました。とりわけランチ会は満員御礼の40名が、備蓄の知恵を共有しつつ、共に食べることで交流もでき、盛り上がりました！（こらほ大森 情報交流室I）



▲講座：家具転倒防止



▲講座：非常時のトイレ術



▲耐震相談



▲ザクザクふみふみ体験

心のこもった創作作品の展示会・こらほ de アート

第3回こらほ de アート(3月11日,12日)には、昨年をこえる20団体(者)が出展してくださいました。細かなところまで工夫された可愛い人形や、折り紙や絵手紙等、どの作品からも制作された方々の気持ちがつたわってくるようでした。

出展された方の周りには、作品の作り方をたずねたり交流しあう輪もでき、創作活動を通じて心がかよう場面が見られました。昨年に引き続いて出展して下さった「大田少年少女発明クラブ」の子どもたちの工作-電池で歩き回るロボットや光ファイバーを使った「ピカピカツリー」はご来場者の皆さんの目を引きました。子ども交流センターの美術クラブをはじめ、今回は子どもたちの作品も多く寄せられました。2日間で155名の方がご来場されました。

また2日目に開催された、オリンピックを目指す「下町ボブスレー」についての舟久保利和氏(株式会社昭和製作所代表取締役社長)の講演会も大好評でした。

「若いリーダーが挑戦している情熱を感じて、モノづくりの未来に希望が持てました」という感想や、小学生からは「郷土研究で町工場の事を調べてみたい」という声も寄せられました。

ご協力ありがとうございました。これからも創作活動を通じて地域の皆様の交流と新しい出会いの機会ができればと考えております。

(こらほ大森 情報交流室I)



▲参加者でにぎわう展示コーナ